

笑顔いっぱい 清里っ子

学校便り 第3号

もりやま まさのり
文責 森山 資典

みんなが元気で夏休みを過ごせますように！！



昨日(7月19日)は、通常登校でしたが、登校時間と強雨が重なり子どもたちが無事に登校できるかとても心配でした。幸いに大きな被害はなかったように思いますが、皆様の家庭はいかがだったでしょうか。さて、今日7月20日(水)で前期前半が終了して、明日から子どもたちが大好きな夏休みが始まります。私も子どもの頃から夏休みが

大好きです。休みが長いこともうれしいのですが、家庭や地域でたくさんの多様な体験ができ、心身共に学び、成長できるのが夏休みだから大好きです。また、8月は、お盆があり、家族や親戚の方々と自分の命のつながりやたいせつさを強く感じることができます。そして、8月6日、9日の広島、長崎への原子爆弾投下や15日の太平洋戦争終戦記念日を通して、平和の尊さと、戦争の悲惨さをあらためて、確かめる大切な学習をする夏休みでもあります。ウクライナへのロシアの侵略がつづいている中で、私たちは、今まで以上に戦争の恐ろしさを感じ、平和でありたいと願いを強くしていると思います。どうかご家庭で子どもたちと一緒に今一度、戦争と平和について考え、二度と戦争がないように、みんなが平和に生きることできるように、自分に何ができるかを話し合っていたいただきたいと思います。

さあ、明日から夏休みが始まります。一人ひとりの子どもたちにとっていい夏休みになることを心から願います。そのためには、子どもたちとご家族とで、実行しなければならないことがあります。まず、第一は、「**自分の命は自分で守る 人の命はみんなで守る**」です。毎年、夏休みにお願ひしてきたことは、自分の「命」をだいじにして、しっかりと成長してほしいと思い、交通事故や水難事故に絶対に遭わないように、交通ルールを守ることや絶対に子どもだけでは池や川、海、プールに遊びに行かないこと等でした。右下の写真は、水難事故を防止するための着衣水泳の授業です。そして、今年もそれに加えて、新型コロナウイルス感染症予防をしなければなりません。現在、みなさんご存じの通り、第七波の感染拡大となっています。だれも望んで病気のなる人はいません。この新型コロナウイルス感染症もみんな絶対かかりたくない病気です。感染された方々が、みなさん完治されますことを心から願います。そして、私たちがしなければならないことは、引き続き感染予防を徹底することだと思ひます。また、心配なのは熱中症等です。小学生は、まだ、体力も弱く、脱水症状を起こしやすいので、給水や体調管理をどうかご家庭や地域の協力をお願いいたします。

今日の夏休み前のサマー集会で子どもたちに「あなたの命は、親から授かった命です。あなたの命は、先祖からつながっている命です。あなたの命は、世界に一つだけの命です。あなたの命は、幸せになる命です。だから何よりも大事にして、せいっぱい生きるのです。」と訴えました。親から授かり、先祖からつながる、だいじな、だいじな命を自分で守ること、人(みんな・なかま)の命は、みんなで守ることを確かめ合って夏休みに入りました。



7月19日(火)5・6年生着衣水泳明日から始まる夏休みを、交通事故や水の事故等に遭わないように、そして、新型コロナウイルス感染症にならないように、82名みんなが過ごしてほしいと心から祈ります。全校児童のみなさん、それぞれが楽しい夏休みを過ごして、9月1日(木)には、「笑顔の登校」で学校へもどってきてください。それではよい夏休みを過ごしてください！！。